

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 26 日

仕事の内容	図書館維持管理事業			
担当部署・課長名	中央図書館	課	管理	係 課長名 當摩 弘

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	1 - 2	-
【施策名】生涯学習の充実		総合計画書 (ページ)	35	

予算名	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	図書館費	事業 1	中央図書館管理費
-----	------	-----	-----	-------	-----	------	------	----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	図書館利用者 →	中央図書館利用者数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	利用者が安全・快適に施設を利用できるようにする。	不具合箇所の修繕等の件数 →
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	①施設内外の点検・確認(照明・窓・雨漏り等) ②業者に点検委託(自動ドア、冷暖房、エレベーター等) ③工事・修繕 →	①開館日276日 ②毎月、3か月に一度等の点検(56回) ③9件

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	117,626	114,434	112,441	
	成果指標	②の数値	件	11	7	9	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	①日 ②回 ③件	①274 ②58 ③11	①275 ②55 ③7	①276 ②56 ③9	

3 経費	事業費(実績)		円	10,379,664	18,385,185	9,562,636	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	10,379,664	11,285,185	9,562,636	
		特定財源	円	0	7,100,000	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.5	1.0	1.0	
		所要人数(再任用)	人	0.5	0.5	0.5	
		職員人件費(再任用以外)	円	12,400,500	8,253,000	8,244,000	
	職員人件費(再任用)	円	1,911,657	1,982,500	1,946,000		
	事業費+人件費	円	24,691,821	28,620,685	19,752,636		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	<ul style="list-style-type: none"> 昭和59年4月15日、東大和市立中央図書館開館。 図書館利用者が安全、快適に利用できるように施設の維持管理をする。
	<p>開始当初と比較し、状況の変化はありますか。</p> <p>開館後34年以上が経過して、施設全体の老朽化が進んでおり、設備や備品等の破損・故障が頻繁に起きている。優先順位を決め、修繕費等を計上しているが、部品の供給期限が過ぎており、見積を取ることも自体が難しくなっている。</p>

仕 事 の 内 容	図書館維持管理事業			
担当部署・課長名	中央図書館	課	管理	係 課長名 當摩 弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	<ul style="list-style-type: none"> ・LED照明への切り替えについて。 ・レファレンス室の空調について。 			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機器等、耐用年数が過ぎているため、今後、保守部品の供給が終了になる。 ・施設や備品の修繕を計画的に実施してこなかったため、ほとんどの所に修繕が必要となっている。 ・建物全体が外の明るさを取り入れる設計になっているため、天候が良い日は明るい、雨の日等は照明をつけても暗い。 			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業調査に計上した。 ・玄関照明を一部LED電球に置き換えた。 ・当初予算や補正予算等により、施設修繕を行った。 ・1、2階の多目的トイレの改修工事を行った。 			
8 今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設改修において部品交換で対応可能なものについては、保守部品の供給期限に配慮し、事前に対応する必要がある。 ・大規模改修については、図書館の運営に対する影響が最小限となるよう作業工程との十分な調整が必要となる。 			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関にも相談し、施設、備品等の修繕を計画的に行う必要がある。 			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
<ul style="list-style-type: none"> ・市建築課に相談し、施設・備品等の修繕が必要な個所とその対応策について整理を行う。 ・専門機関から見積もりをとり、緊急性の高いものから実施計画に上げて予算計上し、施設の長寿命化を図っていく。 				
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費は維持する。